



# 八王子市立陶鎔小学校 経営計画 概要



令和8年度

## ビジョン

### 【目指す子ども像】



#### 心を育てる

多様な他者とかかわり、  
自他を受け止め、しなやかに対応し、  
前向きな気持ちをもつ子ども



#### 言葉をつむぐ

対話を通して建設的に根拠強く考え、  
適切に表現する子ども



#### 体をつくる

自分の可能性を実現する体力を身に付け、  
健康で安全な生活を送る子ども

### 【目指す教師像】



専門職としての  
自覚と誇りを持ち、  
常に相手から学び、  
チームで課題を  
解決できる教師

### 【目指す地域像】



大人としての責任を果たし、  
子育て支援のネットワークのある、  
子供の社会性が育まれる  
安心・安全な地域

### 【目指す学校像】



児童にとって  
「学ぶ喜び」や「居場所」があり、  
「希望」をつなぎ、  
「可能性」を広げる学校

## 3本柱の取組

### 言葉をつむぐ



言語能力・情報活用能力  
を育成し、学びの基盤を  
つくる

#### 中期経営目標（3年間）



各教科等の指導を通して、  
学習の基盤となる言語能力や  
情報活用能力を育成する。



自立した学習の習慣を  
身に付ける。



教職員の学習指導力を  
向上させる

#### 短期経営目標（1年間）

- 児童が言葉や数量・図形などについて  
甲かにイメージできるようにする。
- 児童がデジタル・アナログの双方を  
活用する力を身に付ける。

- 保護者と連携し、児童に  
家庭学習の習慣を身に付けさせる。

- 各教科等において主体的・対話的で  
深い学びを実現する。
- 教員の、学習指導の専門性を高める。

#### 具体的方策（例）

- 対象児童の状況把握と指導の工夫・改善
- 音読・暗唱・視写等の継続実施
- 多様な表現活動・鑑賞活動の実施
- 「読む・調べる」の学習の充実
- デジタルとアナログを活用する場面の設定

- 効果的な家庭学習の課題を工夫して提示し、  
家庭学習習慣を定着させる。

- 見通し・振り返りの活動の充実
- 校内研究の継続・発展
- 教科担任制・交換授業・習熟度別指導の充実
- 専門講師・ALTの活用

### 心をそだてる



自他を受け止め、  
前向きに生きる力を  
育む

#### 中期経営目標（3年間）



自他を受け止め、困難な状況  
であっても前向きに対処  
しようとする態度を涵養する。



落ち着いた学習・生活環境を  
実現する。



配慮を要する児童や家庭への  
対応を組織的に行い、教員の  
対応力を向上させる。



特別な配慮を必要とする児童への  
指導・支援を充実し、困難を軽減する。

#### 短期経営目標（1年間）

- 児童に学ぶことの充実感・達成感、  
自他のよさ・成長を感じさせ、  
自治力と協働する力を向上させる。

- 相原中学校グループ、保護者と連携し、  
児童に学習・生活規律を身に付けさせ、  
自立・自律した行動ができるようにする。

- 不登校、いじめ、教育ニーズのある  
児童や家庭への対応策を検討・実施し、  
状況の改善を図る。

- 学校生活支援シート及び、個別指導計画を  
保護者と共有し、児童の困難を軽減する。

#### 具体的方策（例）

- 体験活動の推進（地域・異学年等との協働）
- キャリアパスポート等を活用した振り返り

- 陶鎔スタイル・TOYO ACTION 5+1の徹底
- 中学校グループ・保護者と連携した一貫指導
- 児童自らが学校生活を振り返り改善

- 不登校対応・いじめ対策委・校内委員会の実施
- アンケートや聞き取りで状況把握・情報共有
- ケースに応じた迅速かつ組織的な支援

- 校内委員会の計画的実施と支援方法の共有
- 支援シート・個別指導計画に基づく実践と目標達成
- 障害理解教育・UDに立った指導の推進

### 体をつくる



体力向上・健康増進・  
食育を通して、  
自他の命を守る力を育む

#### 中期経営目標（3年間）



児童の体力向上を図り、生活習慣の  
改善と健康の保持増進を実現する。



基本的な生活習慣を身に付け、  
けがや事故の防止、健康の保持増進に  
取り組み、自他の生命を守る態度を  
身に付ける。



食事の重要性を理解し、食文化等  
についての関心を高めるとともに、  
食に関する人々への感謝の気持ちや、  
食事のマナーを大切にしようとする。

#### 短期経営目標（1年間）

- 東京都統一体力テストの結果を活用し、  
体力調査を活用した取組を行い、  
体力を向上させる。

- けがの防止、病気の予防、心身の安定について  
指導し、自他の生命を守ることに  
自身を振り返る指導を計画的に行う。

- 食文化や世界の食に関心を高め、  
「味わう」ことや食事のマナーを  
大切にしようとする。

#### 具体的方策（例）

- 体力テスト結果から学年の重点項目を設定
- 鉄棒・持久走・なわ跳びの取組を推進
- 休み時間の外遊びを推進

- 保健指導・学級活動・体育（保健）等で指導
- 自他の生命を守ることを振り返る指導
- 各教科等で安全指導を確実に実施

- 「日本遺産献立」「学ぼう！食べよう！世界の料理」  
などの学習を実施
- 喫食時間を確保し、「味わう」指導を実施

### 推進の 基盤



家庭・地域・中学校との連携  
家庭・地域・相原中学校グループと連携し、  
子どもたちの成長を支えます。



組織的・協働的な学校運営  
教職員がチームで課題を共有・解決し、  
組織的に教育活動を推進します。



PDCAによる継続的改善  
計画・実施・評価・改善を繰り返し、  
よりよい学校づくりを目指します。